

令和8年度水産海洋技術センター調査船運航管理業務委託仕様書

令和8年4月

広島県立総合技術研究所
水産海洋技術センター

1 業務概要

この業務は、広島県海域における浅海定線、貝毒及び赤潮の調査等を行うため、広島県立総合技術研究所水産海洋技術センター（以下「県」という。）所有船舶の運航管理を行うものである。

- (1) 業 務 名 令和8年度水産海洋技術センター調査船運航管理業務
- (2) 業務場所 広島県立総合技術研究所水産海洋技術センター調査船「あき」
- (3) 履行期間 令和8年4月1日から令和9年3月31日

2 運航船舶主要項目

船 名	あき
製造年月	平成9年10月
船舶寸法	長さ 17.00m
	幅 4.00m
	深さ 2.00m
総トン数	19トン
材 質	軽合金（耐食アルミ合金）
主 機 関	825PS × 2基
航行区域	沿岸

3 受注者の留意事項

この委託業務の実施に際しては、調査が安全かつ円滑に実施できるよう努め、事故が発生しないよう十分注意すること。

4 船舶の引渡し等

(1) 船舶の引渡・返還方法

この委託業務において使用する船舶（以下「船舶」という。）は、県が受注者に貸与する。

なお、船舶を県が受注者に引き渡すとき、又は船舶を受注者から県に返還するときは、県と受注者立会いの上で、行うものとする。

(2) 物件の引渡場所、返還場所及び係船場所

呉市音戸町波多見六丁目 21-1 広島県立総合技術研究所水産海洋技術センター棧橋

(3) 善管注意義務

受注者は、引渡しを受けた船舶を善良な管理者の注意をもって管理すること。

(4) 目的外使用の禁止

受注者は、引渡しを受けた船舶を県の要請する目的以外に使用しないこと。

(5) 返還時期

受注者は、委託業務を完了したときは、船舶を直ちに県に返還すること。

(6) 危険負担

受注者は、自己の故意又は過失により、船舶を滅失し、若しくは毀損し、又はその返還が不能となったときは、県の指定した期間内に代品を納め、若しくは原形に復し、又は損害を賠償すること。

5 監督職員・現場代理人

(1) 監督職員

県は、監督職員を定めたときは、別紙様式 1 によりその職名及び氏名を受注者に通知するものとする。監督職員を変更したときも同様とする。

(2) 監督職員の権限

監督職員は、この仕様書に定めるもの及びこの仕様書に基づく県の権限とされる事項のうち県が必要と認めて監督職員に委任したもののほか、この仕様書に基づく作業の立会を行う。

(3) 現場代理人

受注者は、現場代理人を定め、別紙様式 2 によりその氏名を県に通知するものとする。現場代理人を変更したときも同様とする。

(4) 現場代理人の権限

現場代理人は、この委託業務の実施に関し、その運営、管理を行うほか、この仕様書に基づく受注者の一切の権限（契約の変更、契約期間の変更、契約代金の請求又は受領並びに契約の解除に係るものを除く。）を行使できるものとする。

(5) 受注者が現場代理人の権限を行使する方法

受注者は、前項の規定にかかわらず、現場代理人に委任せず自ら行使しようとする場合は、あらかじめ当該権限の内容を書面により県に通知するものとする。

(6) 職務遂行に関する受注者への措置要求

県又は監督職員は、受注者の業務の内容が著しく不相当と認められる場合は、受注者に対してその理由を明示した書面をもって必要な措置をとるべきことを求めることができる。

(7) 職務遂行に関する県への措置要求

受注者は、監督職員がその職務の執行につき著しく不相当と認められる場合は、県に対してその理由を明示した書面をもって必要な措置をとるべきことを求めることができる。

6 業務内容

(1) 運航等

ア 運航場所

広島県海域で次のとおりとする。

調 査 名	海 域	調査定点数	備 考
浅海定線調査 (貝毒・赤潮調査を含む)	広島県海域	3 2 定点	定点場所は別紙 1 のとおり
貝毒調査 (重点調査時)	広島湾	1 2 定点	〃
赤潮調査	広島湾	1 0 定点	〃
その他	広島県海域	—	別途、通知する

(注) 赤潮等発生時は、赤潮等の海域が調査定点となる。

イ 運航期間及び業務従事日数

運航期間は、令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日までとし、当該運航期間中に県が

予定している業務従事日数は、218日とする。ただし、運休待機を含むものとする。

県は、別紙様式7により業務従事日を受注者に通知するものとする。ただし、緊急に調査等が必要になった場合は、発注者と受注者で協議し業務従事日を変更することができるものとする。

ウ 業務従事時間

業務従事時間は、8時30分から17時15分までとする。

なお、業務従事時間外に対応が必要な場合は、県と受注者は協議の上、対応を決定する。

また、乗組員は、業務従事時間中、原則として県に常駐することとする。

ただし、「毎日点検・運航前点検・運航日誌（別紙様式4）」に記載の点検の時間帯を除き、県からの要請後、概ね1時間以内に県に到着できる場所で待機できることとする。

エ 運航スケジュール

県は、運航スケジュール（運航日、調査定点等）を3日前までに別紙様式3の運航スケジュール表により受注者に通知するものとする。ただし、緊急に調査等が必要になった場合は、この限りではない。

なお、運航中に赤潮発生等があった場合は、その海域で船舶を停留させることとする。

また、安全運航に支障がある場合は、受注者は県と協議し、運航スケジュールの変更を求めることができるものとする。

オ 日々の報告

受注者は、毎日船舶の状態の点検を行うこと。特に運航日には運航前に船舶のエンジン等の状態を点検すること。毎日の点検、及び運航日の点検内容は、「毎日点検・運航前点検・運航日誌」（別紙様式4）にその状況を記録すること。また、運航を行った場合は、運航状況を「運航前点検・運航日誌」に記録すること。なお、「毎日点検・運航前点検・運航日誌」は、県に提出し確認を受けること。

カ 毎月の報告

1か月の業務が完了したときは、翌月10日までに別紙様式5の委託業務報告書を提出すること。

キ 乗組員

乗組員は、当該船舶の運航に必要な免許として次のものを取得していなければならない。

- ・ 1級小型船舶操縦免許
- ・ 第二級海上特殊無線技士

なお、受託者は、免許を有する者について、別紙様式6により（免許書の写しを添付）速やかに県に通知しなければならない。

(2) 保険

受注者は、県を被保険者とした保険に加入し、契約証書の写しを提出する。

- ・ 船舶保険（第2種衝突損害賠償金てん補[保険金額引受限度額 37,000 千円以上]相当）
- ・ 船主責任保険（保険金額引受限度額 1,000,000 千円以上、油濁損害賠償保障付）

(3) 燃料・定期点検等・非常時避難

ア 燃料

運航及び船舶の管理に必要な給油は、受注者が行うこととし、その経費は県が負担する。な

お、免税軽油を使用するものとする。

イ 定期点検等

定期点検等（別紙２）は受注者が行うこととし、その経費は受注者が負担するものとする。

ウ 非常時避難

波浪警報又は津波警報の発令が予測されるなどの異常気象時には、県の指示により船舶を安全な場所に避難させ、海上の安全を確認後は係船場所に戻すこと。

(4)業務工程表

業務委託契約約款第３条の業務工程表の提出は免除する。

7 契約方法

(1) 次の項目については、総価契約とする。

項 目	予定日数・回数等
業務従事（運休待機を含む。）	契約期間中 2 1 8 日
船舶の管理（定期点検等）	定期点検は契約期間中 1 回以上 非常時避難は契約期間中 1 回程度

(2) 燃料代については、使用実績に基づき精算する。

8 委託料の支払い

- (1) 燃料代を除く委託料の支払いは、1 か月毎の完了払いとし、その額は「支払内訳書」のとおりとする。
- (2) 燃料代については、毎月の使用実績及び支出内容（納品書、請求書の写し等）を報告し、この報告に基づき翌月に県が受注者に支払う。

9 事故が発生した場合

(1) 事故発生時の連絡

事故が発生した時は、受注者は非常用連絡網により直ちに電話で県に連絡すること。

(2) 事故報告書の提出

ア 事故が発生した時は、受注者は速やかに事故報告書を提出すること。

イ 事故報告書には事故の詳細、被害状況、目撃証言（あれば）、対応内容などを記入すること。

(3) 保険処理の手続

保険処理が必要な場合、県と連携し、保険会社とのやり取りや必要書類の提出を行うこと。

(4) 事故調査協力

ア 県が事故調査を実施する場合、県の要請に応じて事故調査に協力すること。

イ 調査に必要な資料や証拠の提供、事故の経緯や状況に関する説明を行うこと。

(5) 費用負担及び賠償額負担

事故の発生に伴い生じた損害についての費用負担及び第三者に及ぼした損害についての賠償については、業務委託契約書約款に定めるところによる。

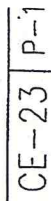
三歌里上

起工	平	成	9	年	3	月	21	日
進水	平	成	9	年	7	月	22	日
完工	平	成	9	年	9	月	12	日

[illegible]

設計・監理：財団法人日本造船技術センター
（建）造：神原海洋開発株式会社

長さ(全長)	17.00m
長さ(登録)	16.01m
幅	4.00m
深さ(型)	2.00m
喫水	0.90m
総トン数	19G.L
主機関	825PS X 2
速力(最大)	33.7KT
速力(航海)	31.2KT
定員	2名
船員	その他
合計	11名
航行区域	第一種小型漁船(20海里未満)

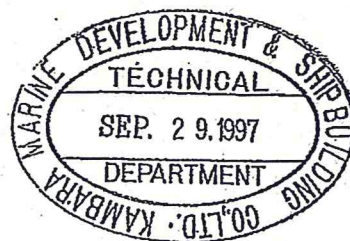


PLAN HISTORY

1. 完成図として作成する。(H9.9. 2)

協 議

先	月	日	回	当
1				
2				
技				
計				
数				
船				
機				
電				
配 付 先				
水産漁港				
水産試験				
S R C				
J C I				
営 業				
工務CE				
CE技術				
検 査				
利 光				
控				
計				



完 成 図 面

3 SHEETS WITH COVER

MANAGER	SHIP'S NAME あ き	RULL NO. CE-23
SEC. CHIEF <i>R. Hto</i>	広島県水産試験場漁業調査船 一 般 配 置 図	
ASSIST. CHIEF <i>M. Shintake</i>		
CHARGE ENGR		
STAFF		
DRAWER T. D. C.	SCALE 1/50	DRAWING NO. B-02
DATE H9.9.2		

KAMBARA MARINE DEVELOPMENT & SHIPBUILDING CO., LTD.

監督職員通知書(変更)

令和 年 月 日

(受注者)

様

広島県立総合技術研究所長
(水産海洋技術センター)

次のとおり監督職員を定めたので通知します。

委 託 業 務 名	令和8年度水産海洋技術センター調査船運航管理業務
契 約 年 月 日	令和 年 月 日
監 督 職 員	

現場代理人指名（変更）届

令和 年 月 日

広島県立総合技術研究所長 様
（水産海洋技術センター）

（受注者）
住所
氏名

印

次のとおり指名（変更）しましたので届け出ます。

1 業務名等

委 託 業 務 名	令和8年度水産海洋技術センター調査船運航管理業務
契 約 年 月 日	令和 年 月 日
契 約 期 間	1 年

2 現場代理人

氏名（生年月日）	
----------	--

運航スケジュール表

令和 年 月 日

(受 注 者) 様

広島県立総合技術研究所長
(水産海洋技術センター)

運 航 日	
出航予定時間	
調 査 名	
調 査 定 点 (海 域 等)	
乗 船 予 定 者	
そ の 他	

毎日点検・運航前点検・運航日誌

令和 年 月 日 曜日

運航者名

印

天候

風向

風力

点 検 項 目		点検チェック	措置状況
船 体	◎	船体に異常はないかの確認	
	◎	係船（留）ロープの擦切れはないかの確認	
	△	船体内外の清掃	
エンジン・ドライブ	※	エンジンルームに、ビルジが溜まってないかの確認	
	※	キングストン弁の開閉確認	
	※	エンジン周りにオイル漏れはないかの確認	
	※	各ベルトの張り、傷、磨耗の具合の確認	
	※	各取付部のゆるみ、ガタがないか等の確認	
	※	ホース・パイプ類の破損の有無を確認	
	※	オイルゲージにてエンジンオイルが適量かを確認	
	※	清水・冷却水（クーラント）の量を確認	
	※	バッテリー液の量を確認	
	※	エンジンスターター時、異常、異音はないかの確認	
	※	排気の色とオイル漏れの確認	
	△	各種ストレーナ清掃	
	△	ビルジの処理（海洋汚染防止法等海上災害の防止に関する法律に触れないよう処理をすること）	
	△	各部箇所の補充、交換、点検	
計器類	※	各メーター類の確認 オイル圧力計、水温計、ブースト計、燃料計等	
	※	航海灯点灯の確認	
	※	レーダー、サテライトコンパス、GPS等の作動確認	
その他	△	法定備品の点検	
	△	救命装備の数量・状態の点検	

◎：毎日点検 ※：運航前点検 △：10日に1回点検 チェックは、“○”“×”で行うこと

発時間		着時間		運航時間		アワーメーター		調 査 名			調査点 (海域等)		乗船者		走行距離		
				計													
作業記事		用 務					使用時間		燃料	前日残		注入		消費		本日残	
									清水								
事項 特記																	

委 託 業 務 報 告 書

別紙様式 5

令和 年 月 日

広島県立総合技術研究所長 様
(水産海洋技術センター)

(受注者)

住所

氏名

印

令和 8 年度水産海洋技術センター調査船運航管理業務について、次のとおり関係書類を添えて報告します。

項 目	内 容
報 告 内 容	令和 年 月分業務報告
燃 料 使 用 料	令和 年 月分使用燃料代 円
添 付 書 類	1 毎日点検・運航前点検・運航日誌 令和 年 月分 2 使用燃料支払証拠書類の写し

通 知 書

広島県立総合技術研究所長 様
(水産海洋技術センター)

(受注者)

住所

氏名

印

次のとおり海技免状資格者を通知します。

1 件 名 令和8年度水産海洋技術センター調査船運航管理業務

2 資格者名簿

氏 名	有 効 期 限

令和 8 年〇月業務従事日

令和 年 月 日

(受 注 者) 様

広島県立総合技術研究所長
(水産海洋技術センター)

月 日	業務内容	月 日	業務内容
〇月〇日 (〇)		〇月〇日 (〇)	
〇月〇日 (〇)		〇月〇日 (〇)	
〇月〇日 (〇)		〇月〇日 (〇)	
〇月〇日 (〇)		〇月〇日 (〇)	
〇月〇日 (〇)		〇月〇日 (〇)	
〇月〇日 (〇)		〇月〇日 (〇)	
〇月〇日 (〇)		〇月〇日 (〇)	
〇月〇日 (〇)		〇月〇日 (〇)	
〇月〇日 (〇)		〇月〇日 (〇)	
〇月〇日 (〇)		〇月〇日 (〇)	
〇月〇日 (〇)		〇月〇日 (〇)	
〇月〇日 (〇)		〇月〇日 (〇)	
〇月〇日 (〇)		〇月〇日 (〇)	
〇月〇日 (〇)		〇月〇日 (〇)	
〇月〇日 (〇)		〇月〇日 (〇)	
〇月〇日 (〇)		〇月〇日 (〇)	
〇月〇日 (〇)		〇月〇日 (〇)	
〇月〇日 (〇)		〇月〇日 (〇)	

※急遽、臨時調査により変更する可能性あり。

調査定点一覧表

別紙 1

調 査 名	海 域	調 査 定 点	
		定 点 数	番 号
浅 海 定 線 調 査 (貝毒・赤潮調査を含む)	広島県西部 海域	15 (22)	(調査定点) 13、15、17、18、19、20、21、33、34、35 (補助定点) 12、14、16、31、32、(43、44、45、46、47、48、49)
	広島県東部 海域	17 (22)	(調査定点) 1、2、4、6、7、24、36、37、38 (補助定点) 3、5、8、26、27、28、29、30、(39、40、41、42、53)
貝 毒 調 査 (重点調査時)	広 島 湾	12 (15)	48、49、47、21、20、46、18、17、15、43、33、19、54、(50) (51) (52) (55)
赤 潮 調 査	広 島 湾	10	21、20、19、46、18、17、15、44、45、33

調査定点		位 置		調査定点		位 置	
番号	地点名	北緯(度分)	東経(度分)	番号	地点名	北緯(度分)	東経(度分)
1	広	34° 11.530	132° 35.903	32	甲島南	34° 04.610	132° 18.655
2	来島	34° 13.310	132° 47.256	33	大野	34° 15.949	132° 15.857
3	契島	34° 17.415	132° 53.952	34	松ヶ鼻	34° 14.498	132° 27.326
4	三原	34° 22.449	133° 07.381	35	水枝C棧橋	34° 10.298	132° 33.367
5	百島	34° 21.356	133° 15.008	36	鞆南	34° 21.679	133° 23.331
6	田島	34° 21.588	133° 20.673	37	田尻	34° 24.886	133° 25.065
7	斎島西	34° 07.378	132° 46.861	38	松永湾	34° 24.281	133° 14.455
8	館場島北	34° 03.205	132° 34.968	39	横田港内(赤)	34° 21.028	133° 17.430
12	甲島東	34° 07.196	132° 22.058	40	田島内浦(赤)	34° 22.150	133° 19.630
13	白石灯台北	34° 11.398	132° 20.875	41	干汐(赤)	34° 22.498	133° 13.170
14	阿多田西	34° 12.348	132° 16.455	42	安芸津(貝)	34° 17.596	132° 49.867
15	奈佐美北	34° 18.008	132° 21.956	43	阿多田(貝)	34° 12.397	132° 18.738
16	安渡島北	34° 17.301	132° 23.961	44	阿多田(赤)	34° 11.925	132° 18.776
17	カクマ西	34° 18.802	132° 23.457	45	小方港(赤)	34° 13.960	132° 14.411
18	津久根西	34° 20.363	132° 22.951	46	観音(赤・貝)	34° 20.957	132° 24.809
19	宇品	34° 20.895	132° 28.158	47	呉港(貝)	34° 14.441	132° 33.160
20	峠島東	34° 19.253	132° 28.689	48	アジワ(貝)	34° 10.983	132° 33.904
21	呉湾	34° 13.999	132° 31.465	49	大柿(貝)	34° 10.935	132° 28.881
24	鞆	34° 23.490	133° 23.499	50	広湾(貝)	34° 12.225	132° 35.850
26	大下島南	34° 10.197	132° 56.093	51	天応(貝)	34° 17.096	132° 30.397
27	伯方島北東	34° 14.800	133° 06.366	52	大須(貝)	34° 17.668	132° 27.783
28	百貫島北	34° 18.717	133° 16.044	53	横田港外(貝)	34° 20.551	133° 17.49
29	ハチカサ	34° 19.910	133° 23.644	54	地御前(貝)	34° 19.927	132° 20.018
30	幸崎	34° 19.196	133° 01.150	55	早瀬(貝)	34° 08.146	132° 29.671
31	宮島	34° 15.195	132° 19.850				

※1 調査定点は、GPSに入力済み

2 (赤)は赤潮調査、(貝)は貝毒調査の調査地点

定期点検等内容

実 施 項 目	数 量	備 考
定期点検	1 回	
船体上下架		
船底清掃及び塗装		
シーチェスト開放清掃塗装		
船体防食陽極板取替え		
プロペラ、プロペラ軸研磨		
主機関、減速機整備、補機関	適宜	
オイル、エレメント、エアーフィルター、 防食保護亜鉛等交換 他		

※定期点検の時期については、事前に協議すること。

※定期点検時に修理が伴うこととなる場合は、事前に協議すること。

※定期点検の発注先は、原則、広島県入札参加者名簿に登載の事業者とすること。

※定期点検に伴う消耗品類の交換を対象とする。また、定期点検時以外で、消耗品の交換が必要な場合は受注者が交換を行うものとする。

ただし、交換費用（消耗品代金及び工賃）が5, 0 0 0 円以上の場合は、原則、協議すること。